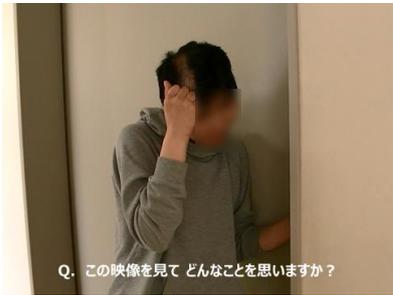
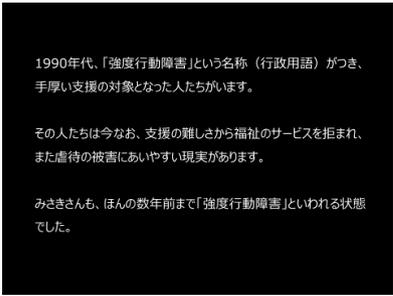
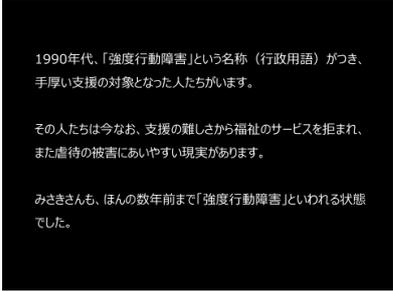
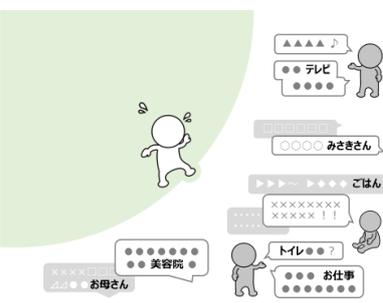
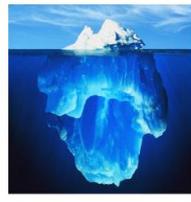


資料 4

<p>1</p>		<p>【映像】 抜毛のシーン          【テロップ】 みさきさん（仮名）          【ナレーション】          ちょっと衝撃的な映像ですが          この方はみさきさんという重度の知的障害がある30代の女性です。          この様に、重度の知的障害がある人の中には          自分自身を傷つけたり、周囲の人の生活に影響を及ぼすような行動を、          頻繁に行う人がいます。</p>
<p>2</p>		<p>【ナレーション】          みなさんは、この映像を見て、どんなことを思いましたか？</p>
<p>3</p>		<p>【映像】 服を破るシーン          【テロップ】 どう支援したら良いのか、悩んでしまいますね          【ナレーション】          障害福祉サービス事業所で働いていると、私たちの想像を超えた場面に出会うことが沢山あります。          そんな時、どう支援したら良いのか、悩んでしまうのではないのでしょうか。</p>
<p>4</p>		<p>【ナレーション&amp;テロップ】          1990年代、「強度行動障害」という名称が付き、手厚い支援の対象となった人たちがいます。          しかし、その人たちは今なお支援の難しさから福祉のサービスを拒まれ、また虐待の被害にあいやすい現実があります。          みさきさんたちも、ほんの数年前まではそういった環境に置かれていました…</p>

<p>5</p>		<p>【ナレーション&amp;テロップ】</p> <p>今のみさきさんは、安心できる環境の中で、穏やかな生活を送っています。</p> <p>しかし、実は今のみさきさんの様に、穏やかに生活を送れる強度行動障害がある方は、そう多くありません。</p> <p>この映像資料は、多くの人が笑顔で過ごせるよう、そして、支援で悩んでいる職員の後押しになることを願って製作しました。</p>
<p>6</p>		<p>【映像】 制止画</p> <p>メインタイトル</p> <p><b>強度行動障害支援者用映像資料</b></p> <p>- みんなで理解し、取り組む行動障害者支援 -</p>
<p>7</p>	<p>こんな場面、ありませんか？</p> 	<p>【ナレーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓やモノを壊す</li> <li>・人を叩く、噛む</li> <li>・トイレをつめる</li> <li>・食事を投げる</li> <li>・火災報知器をおす</li> <li>・クルマから降りない</li> </ul> <p>仕事中、こんな場面に出会ったことはないでしょうか？ そんなとき、「怒ったらダメなの？」と素朴に思うかもしれません。</p>
<p>8</p>	<p>これまでの子育て経験や、自身の人生経験から、「怒ることが本人のため」「怒って、分かってもらう」と、思うかもしれません。</p>  <p>ただ利用者は、みなさんの子どもではありません。また、みなさんと同じように怒られた理由を理解できる方ばかりではありません。</p> <p>福祉サービス従事者として、利用者は、怒ったり叱る対象ではないことを、しっかりと認識しておくことが大切です。</p> <p>(※制止や注意が必要な場合は当然あります)</p>	<p>【ナレーション】</p> <p>みなさんのこれまでの子育て経験や、人生経験から「叱ることは本人のため」「叱って理解してもらおう」と、思いがちですが、利用者は、当然みなさんの子どもではありませんし</p> <p>また、叱られた理由を理解出来ない方も沢山います。</p> <p>利用者は、怒ったり、叱る対象ではないことを、福祉サービス従事者としてしっかりと認識しておくことが大切です。</p>

<p>9</p>  <p>知的障害が重度・最重度であって行動障害がある人の多くは、①自分の思いを認識したり、他者に想いを伝えること、②周囲からの情報を収集・理解することが難しい人々です。</p>	<p>【ナレーション】</p> <p>知的障害が重度で行動障害のある方の多くは、周囲の情報や言葉を理解したり、他者に自分の思いや感情を伝えることが難しい人々です。もし叱られたとしても、その叱られた理由は理解できず、ただただ叱られた恐怖しか残らないといった場合がほとんどです。</p>
<p>10</p> <p>もしかして、イライラして服を破っているのかも？</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感情をコントロールすることが難しい</li> <li>● 今の気持ちを認識することが難しい</li> <li>● イライラしたときの、適切な対処方法を持っていない</li> </ul> <p>怒ることよりも、みさきさん にあった支援を提供することが、最も効果的な解決策となります</p>	<p>【ナレーション】 服を破るシーン</p> <p>冒頭の映像でみさきさんが服を破っていました。その原因は、イライラして破っていたのかもしれませんが。しかし、その感情をコントロールすることや、そもそもイライラしていること事態を理解することが難しいのかもしれませんが。さらに、自分がイライラしたときの対処方法を持っていないために服を破っていたのかもしれませんが。</p>
<p>11</p> <p>本当に困っている（悩んでいる）のは誰？</p> <p>知的障害が重度・最重度であって行動障害がある人の多くは、様々な理由から、自分の思いや感情を、支援者が困ると感じる行動で表現していることがあります。</p> <p>みなさん、そして周囲の職員さんも、きっと困っていたり、悩んでいるのではないのでしょうか。</p> <p>でもそれ以上に、利用者自身が最も困っているということを、しっかりと理解しておくことが大切です。</p> 	<p>【ナレーション】</p> <p>こうした行動障害の多くは、様々な理由から支援者が「困る」と感じる行動で表現されることがあります。実際に支援に従事していると、困ったり、悩んだりすることが沢山あります。そして、それは、周囲の職員さんも同じ気持ちでいるはずですが。</p> <p>しかし、それ以上に、「利用者本人が一番困っている」、ということをしっかりと理解することが大切です。</p>
<p>12</p> 	<p>【映像】 制止画</p> <p><b>みさきさん への支援 1</b></p> <p>- 見ている・感じている世界を理解する -</p>

<p>13</p> <p><b>支援のスタートは、理解することから</b></p> <p>「みさきさんって、どんな人？」 「これまでどんな人生を送ってきたんだろう？」</p> <p>ケース記録やカルテ、関係者からの聞き取り、アルバムなどから、可能な限り情報を集め整理します。</p> <p>そして、行動障害が起きている場面を観察することで、みさきさんが困っている要因を理解することから、支援を開始しました。</p> 		<p>【ナレーション】</p> <p>障害に関係なく、支援の基本は同じです。</p> <p>まずは対象利用者のことを可能な限り理解することからはじめます。</p> <p>「どんな人なのか」、「どんな人生を歩んできたのか」</p> <p>ケース記録やカルテ、関係者からの聞き取りなどから、一つ一つ情報を集め、整理していきました。</p> <p>そして、行動障害が起きている場面を観察することで、行動障害を起こさなくてはならない理由など、困っている要因を理解することから、支援を開始しました。</p>
<p>14</p> 		<p>【ナレーション】</p> <p>例えば、髪の毛を抜いたり、服を破るといった行動は一日中起きているわけではありません。細かく観察して、起きたときの状況を記録していくと、全てではありませんが、職員や利用者が、おしゃべりをしている時に行動障害が多く見られることが分かりました。</p>
<p>15</p> 		<p>【ナレーション】</p> <p>そして、周囲の人の動きや言葉がとても気になり、人が話していることを自分のことだと思ったり、他の人が靴を履くと自分も外出すると勘違いして靴を履こうとすることがありました。</p> <p>今何をすればいいのか、何を期待されているのかなど、状況の情報だけがどんどん入ってきてしまい、不安と混乱で落ち着けない日々の繰り返しだったはず。</p>
<p>16</p> <p><b>行動障害の全体像を、冰山モデルで考える</b></p>  <p>冰山は、見える部分だけでなく、水面下にある見えない部分の方が、実は大きいです。</p> <p>行動障害を見る視点も、見えている部分だけに着目するのではなく、水面下に隠れている部分を見ることで、行動障害の全体像を理解することにつながります。</p> <p>こうした考え方を『冰山モデル』と呼びます。</p>		<p>【映像】 制止画</p> <p>【ナレーション】</p> <p>行動障害の要因を探るツールはいくつかありますが</p> <p>その中の一つに、冰山モデルがあります。</p> <p>冰山は、水上の見える部分より、水面下にある見えない部分の方が大きい様に、行動障害を見る視点も、見えている部分だけに着目するのではなく、隠れている部分を見ることで全体像を理解することにつながります。</p>

17

**みさきさん への支援 2**

- 安心できる、自立的な生活を支援する -

【ナレーション】

**みさきさん への支援 2**

- 安心できる、自立的な生活を支援する -

18

- 情報の収集と整理
- 構造化された居住空間
- 強みを活かした日中活動  
(やり方がわかる作業は、最後までできる)
- ある程度決まった生活パターン
- スケジュールの活用



ここまで聞きなれない言葉が、いくつか出てきたかもしれません。  
現在、全都道府県で強度行動障害者支援に関する研修が開催され、こうした内容についても研修で学ぶことができます。

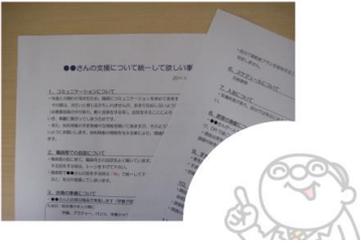
【ナレーション】

冰山モデルを使って行動障害の要因を整理し、みさきさんにあった、次のような支援を提供しました。

- ・ 構造化された居住空間
- ・ 強みを活かした日中活動の提供
- ・ ある程度決まった生活パターン
- ・ スケジュールの活用 などです。

19

**統一した支援 (+ 記録の徹底)**



【ナレーション】

もう一つ、大切な支援ポイントがあります。

職員間での統一した支援と、記録の徹底を行う事です。

安心して、穏やかな生活を過ごすには、情報の混乱を避けるため職員間で決まった支援を提供することが欠かせません。

20

みさきさんの行動記録票

記録様式の例

- 薬を抜く・・・●
- 服を絞る・・・○
- その他の攻撃等・・・x

活動	10/13 (月)	10/14 (火)	10/15 (水)	10/16 (木)
朝食・休憩	●	○	x	
個別活動①				
お茶休憩	●●x		○○	
個別活動②		xx		
昼食・昼休み	○		●○	●○
散歩				
自立課題		●		
休憩	○x			●○

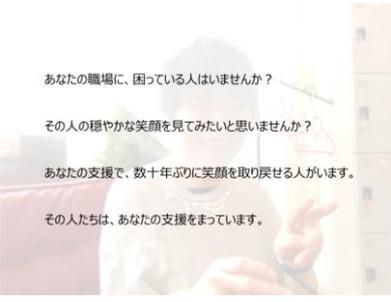
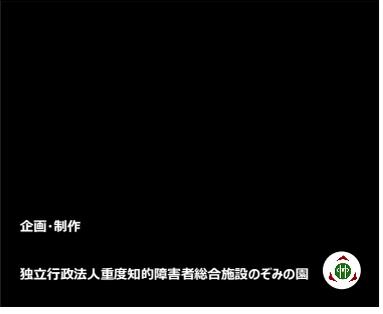
【写真】 写真 3

【ナレーション】

きちんと記録をつけておくことで、間違った支援をしていないか、支援の効果などを、振り返ることにつながります。

21		<p>【映像】 自立課題のシーン</p> <p>【ナレーション】</p> <p>整理した記録や情報を元に、彼女にあった支援を開始して数ヶ月後のみさきさんです。自信を持って取り組める日中の作業と、ある程度決まったスケジュールで毎日過ごすことで、達成感と安心につながり、今では髪の毛を抜いてしまうことや、服を破ることは殆どなくなりました。</p>
22		<p>【映像】 作業のシーン</p> <p>【ナレーション】</p> <p>支援前と比べ、とても笑顔が増え 現在も みさきさんは、穏やかに施設での生活を続けています。</p>
23		<p>【映像】 笑顔で食事のシーン</p> <p>【ナレーション】</p> <p>この様に、みさきさん本人にあった支援を提供することが、行動障害への最も効果的な解決策となります。 そして、何よりも本人にとって幸せであることが一番です。</p>
24		<p>【ナレーション】 なし</p> <p>ま と め</p>

<p>25</p> <p><b>大切にしたい支援のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 行動の背景をしっかりと理解し、安心できる生活環境を提供する</li> <li>• 1人で支援を行うのではなく、職場のみんなで考え、統一した支援にとりくむ</li> </ul> <p>この支援のポイントは、みさきさんの支援だけでなく、強度行動障害者支援、さらに多くの障害者支援で共通する支援のポイントです。</p>		<p>【写真】 制止画</p> <p>【ナレーション】</p> <p>みさきさんの支援で大切にしたいポイントです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 行動の背景をしっかりと理解し、安心できる生活環境を提供すること</li> <li>• 職場みんなで考え、統一した支援にとりくむこと</li> </ul> <p>この支援のポイントは、みさきさんだけでなく、強度行動障害者支援、さらに多くの障害者支援で、共通する支援のポイントといえます。</p>
<p>26</p>		<p>【写真】 写真 1</p>
<p>27</p>		<p>【写真】</p> <p>【ナレーション】 なし</p> <p><b>もっと詳しく学びたい方へ</b></p> <p><b>- 強度行動障害者の支援に関する書籍と研修 -</b></p>
<p>28</p> <p>強度行動障害者の支援に関する書籍や、行動障害に特化した内容、自閉症支援に関するものなど、様々な書籍が販売されています。</p> <p>また厚生労働省（厚生省〜）が公募して行ってきた強度行動障害に関する研究についても、「厚生労働科学研究成果データベース」から閲覧することができます。</p>	 	<p>【写真】</p> <p>【ナレーション】</p> <p>聞きなれない言葉が、いくつか出てきたと思いますが</p> <p>現在、強度行動障害者支援に関する書籍や、行動障害、自閉症支援に関するものなど、様々な書籍が販売されています。</p> <p>また厚生労働省が公募して行ってきた研究についても、「厚生労働科学研究成果データベース」から閲覧することができます。</p>

<p>29</p>	<p><b>強度行動障害支援者養成研修のお問合せ</b></p> <hr/> <p>各都道府県の障害保健福祉主幹部（局）に、お問合せください。</p> <p>強度行動障害支援者養成研修（指導者研修）の全ての資料は、国立のぞみの園ホームページでご覧いただけます。</p> <p>国立のぞみの園 強度行動障害支援者養成研修 <input type="button" value="検索"/></p>	<p><b>【映像】写真 4</b></p> <p><b>【ナレーション】</b></p> <p>2013年度からは、強度行動障害者に対し、適切な支援を行う職員の人材育成を目的とした研修が、全都道府県で開催されています。</p> <p>みなさんも一緒に学んでみませんか。</p> <p>あなたの支援で、利用者、そしてあなた自身が笑顔になれます。</p>
<p>30</p>	 <p>あなたの職場に、困っている人はいませんか？</p> <p>その人の穏やかな笑顔を見たいと思いませんか？</p> <p>あなたの支援で、数十年ぶりに笑顔を取り戻せる人がいます。</p> <p>その人たちは、あなたの支援をまっています。</p>	<p><b>【映像】 制止画</b></p> <p>あなたの職場に、困っている人はいませんか？</p> <p>その人の穏やかな笑顔を見たいと思いませんか？</p> <p>あなたの支援で、数十年ぶりに笑顔を取り戻せる人がいます。</p> <p>その人達はあなたの支援を待っています。</p>
<p>31</p>	 <p>企画・制作</p> <p>独立行政法人重度知的障害者総合施設のぞみの園</p>	<p><b>エンドクレジット</b></p> <p>企画・制作</p> <p>独立行政法人重度知的障害者総合施設のぞみの園</p>